

市のコミュニティ施策について（令和4年度の取組み）

地域コミュニティの維持・活性化を推進していくため、「第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画」に基づき、地域特性を活かした住民主体による持続可能な地域づくりを進めた。

(1) 地域コミュニティ活性化の推進

「第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画(R3～R7)」の着実な遂行のため、地域ビジョン策定支援や、地域課題解決に向けた住民主体の体制づくりを推進した。

①地域ビジョン策定及び実践支援

地域の現状を把握し、地域のあるべき姿(目標)を定め、具体的な取組み事項を計画する「地域ビジョン」策定を支援するとともに、策定済地区が地域ビジョンに掲げる目標を達成するために取り組むまちづくり活動を支援した。

○地域ビジョン策定済 12 組織

藤島地区(藤島)、宝谷地区(櫛引)、朝日東部地区(朝日)、越沢(温海)、加茂地区(鶴岡)、三瀬地区(鶴岡)、手向地区(羽黒)、福栄地区(温海)、宮名(温海)、小堅地区(鶴岡)、泉地区(羽黒)、由良地区(鶴岡) (策定順。令和4年度策定は由良地区のみ)

※朝日地域、温海地域においては、平成23～25年度過疎地域集落対策事業により集落ビジョンを策定(朝日地域6組織、温海地域10組織)。

○地域ビジョン策定中及び策定予定地区 11 組織

第二学区(鶴岡)、第六学区(鶴岡)、黄金地区(鶴岡)、湯田川地区(鶴岡)、東栄地区(藤島)、長沼地区(藤島)、渡前地区(藤島)、羽黒第四地区(羽黒)、広瀬地区(羽黒)、朝日中央地区(朝日)、大泉地区(朝日)

②鶴岡地域まちづくり未来事業の実施

「地域まちづくり未来基金」の設置目的である「地域社会・コミュニティの振興及び均衡ある発展」を図るため、「人口減少に立ち向かう、真に地域振興に資する」事業を地域まちづくり未来事業として位置づけ実施。鶴岡地域では、広域コミュニティ組織が未来に向け取り組むまちづくり(プロジェクト)を支援し、住みよい、活力あふれる地域コミュニティの構築を推進した。

◇令和4年度採択件数…7件 5,593千円

➡資料 No.2「まちづくり未来事業実施状況について」

③ アドバイザー職員制度による地域づくり支援

地域ビジョンの策定や地域課題の解決、事業実施など、地域の要請に応じて職員をアドバイザーとして派遣し、地域の主体的な活動を後押ししている。

◇令和 4 年度アドバイザー職員派遣…15 地区(28 名)

➔ 資料 No.3「アドバイザー職員制度」

④ ワークショップ等の開催による地域づくり支援

地域課題解決等に向け、地域が主体的に行う取組みに対して、ファシリテーターや外部アドバイザー等を派遣し、地域の実情に応じた住民主体の地域づくりを推進した。

◇令和 4 年度地域づくりワークショップ支援事業…5 地区

⑤ 生涯学習活動を通じた地域づくりの推進

広域コミュニティ組織へ「広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金」(櫛引・温海地域は単位自治組織に「公民館類似施設運営・活動費補助金」)を交付し、地域が主体的に行う生涯学習活動を支援している。

また、各地域に生涯学習推進員を配置し、広域コミュニティ組織の職員等と連携を図りながら、地域の状況に合わせた効果的な事業展開が図られるよう支援したほか、コミュニティセンター等を活動拠点として実施された生涯学習事業の概要をまとめた「生涯学習事業記録」を作成し、情報共有している。

➔資料 No.4「地域づくりにつながる生涯学習の推進」

⑥ 優良事例の共有

推進計画に記載の各種取組みについて、住民自治組織の取組み状況を確認するため、毎年「ふり返しシート」の作成をお願いしている。各住民自治組織から提出された令和 3 年度の取組みについて、調査報告書(概要版・詳細版)としてまとめ、住民自治組織に配布することで課題や取組み事例を共有した。

併せて、地域のコミュニティ活動の工夫や独自の取組みなどを紹介する広報紙「まち活通信」を発行・配布し、優れた取組みの共有を行った。

➔資料 No.5「広報紙『まち活通信』」

⑦ デジタル化による利便性の向上に向けた環境整備(令和 4 年度・5 年度)

コミュニティセンター等にある既設の公衆無線 LAN 設備を活用し、アクセスポイントを増設して大ホール等でも公衆無線 LAN が使用できるように拡充整備した。

◇令和 4 年度公衆無線 LAN 拡充整備…10 施設

(2) 住民自治組織の活動・運営支援

住民自治組織に対し持続可能な体制整備を促すとともに、活動への支援、身近な地域課題解決に向けた取組みを支援した。

① 広域コミュニティ組織の育成・支援

「広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金」(対象は 33 の広域コミュニティ組織。鶴岡地域 21、藤島地域 5、羽黒地域 4、朝日地域 3)により、地域が主体的に行う生涯学習、福祉、防災、生活環境整備等の総合的な地域活動の他、地域の特色を活かした魅力ある地域づくりや地域課題の解決に向けた取組み等を支援した。

このほか、各種研修会や会議等において市からの情報を提供するなど組織の育成及び機能強化に取り組んだ。

② 単位自治組織の維持と負担軽減に向けた支援

463 の町内会等へ「住民自治組織総合交付金」を交付。各自治組織の特色を活かした交付金の活用を促進するとともに、小規模な町内会や条件不利地域に配慮した内容で交付している。

また、活動拠点の整備については、「公民館類似施設整備費補助金」による支援や各種補助制度等の情報を提供し、単位自治組織の維持、運営を支援している。

◇令和 4 年度公民館類似施設整備費補助金…6 公民館

(3) 各種研修等の実施について

① 住民自治組織合同研修会「つるおかみらいフォーラム」

期 日 令和 4 年 11 月 19 日(土)

会 場 市内 6 会場と自宅等からの受講を併用したハイブリット開催

対 象 鶴岡市内単位住民自治組織(町内会等)代表者、自治公民館関係者、広域コミュニティ組織関係者、市職員

参加者 78 名

内 容 第 1 部 講演「これからの時代に不可欠な住民自治のカタチ

～地域での暮らしを持続可能なものにするには住民自治の進化が不可欠～」

講師:NPO 法人都岐沙羅パートナーズセンター 理事・事務局長 斎藤 主税 氏

※第 2 部では、車座トークを実施。

②鶴岡市生涯学習活動オンライン発表会

コロナ禍により生涯学習活動が停滞し、文化祭等の中止に伴い発表の機会も減少している現状において、住民のサークル活動等の推進、活動への意欲の維持・向上を図ることを目的に、各団体が活動の様子や作品、成果を収めた動画を募集し、市公式HP上で発表する機会を設けた。



こちらのQRコードから
アクセスできます

開催期間 令和5年1月10日(火)～令和5年3月31日(金)

募集対象 ①中央公民館や市内コミュニティセンター等に登録又は当該施設で活動しているサークル等が、その作品や活動を撮影した動画
②コミュニティ振興会・自治振興会等の広域コミュニティ組織が、その事業を撮影した動画

応募総数 12作品(令和5年2月末現在)


応募団体 ギターグループ、櫛引歴史バトンプロジェクト実行委員会、大山自治会(合同作品展、令和おうら大学)、大山いざや巻保存会、山琴箏会、鶴岡東洋蘭同好会、グリーンギターフィールズ、百凜花、庄内木版画会、八栄島地区自治振興会、長沼地区自治振興会

「鶴岡地域まちづくり未来事業」実施状況

地域コミュニティの振興及び均衡ある発展を図るため、人口減少に立ち向かう、地域振興に資する事業を“地域まちづくり未来事業”として位置付け、鶴岡地域の広域コミュニティ組織が未来に向け取り組むまちづくり（プロジェクト）を支援し、住みよい活力あふれる地域コミュニティの構築を推進しています。

令和4年度採択事業 7件

1	<p>団体名：加茂地区自治振興会</p> <p>事業名：地域ビジョン実施事業「北前船寄港地加茂 今も残る加茂古道整備でまちづくり」</p> <p>交付決定額：1,030,000円</p> <p>事業概要：日本遺産「北前船寄港地」の重要ポイントである「加茂古道」に解説・案内看板を設置し、加茂地区の歴史文化の理解を深める。作成済みの「歴史マップ」「歴史看板」「街歩きガイド」と合わせ、加茂地区魅力発信の充実を図る。</p> <p>◆R1～R3年度：マップ作成、看板設置、大黒舞継承事業（半纏整備、歌本見台・唄本整備） 日和山遊歩道整備、 まち歩きガイド整備事業 （ガイド養成、教習本作成）</p> <p>◆R4年度：加茂古道チラシ作成、 加茂古道看板設置</p>  <p>加茂古道 チラシ作成 会議</p>
2	<p>団体名：田川地区自治振興会</p> <p>事業名：「田川太郎の里づくり」プロジェクト事業</p> <p>交付決定額：647,000円</p> <p>事業概要：平安時代に田川地方一帯を治めていた歴史上の人物「田川太郎」を切り口として、ソフト事業とハード事業を組み合わせたまちづくり活動に取り組み、地域の活性化及び人材育成を図る。</p> <p>◆R2～R3年度：歴史資料展示室整備、歴史案内板設置、ロードサイン整備、バス停壁画制作、案内パンフレット作成、キャラクター作成</p> <p>◆R4年度：「ぶら田川」実施、七日台周遊路整備、 平泉研修視察、幟製作 田川太郎サイクリングツアー実施</p>  <p>子どもたちが、地域の歴史文化名所を自転車で巡りました。</p>  <p>「田川太郎の里歴史ウォーク」実施。 募集の3倍の応募がありました。</p>

3	団体名： 小堅地区自治振興会
	事業名： 地域ビジョン実施事業 ～子ども・若者・子育て世代と先輩方が、世代を超えて対話でき、一緒に取り組む地域活動と地区内外へのPR発信～
	交付決定額： 1,120,000円
	事業概要： 地域ビジョンに掲げる将来像「子ども・子育て世代が住みたくなる小堅地区」を目指し、多世代交流施設「小堅ランド」の整備、充実を図る。活動に多くの住民を巻き込むことで地域との関りへの意識の高揚を進め、小堅地区に暮らす理由を創出していく。地域外へもイベントPRする等、地域外への魅力の発信にもつなげる。 ◆R1～R3年度：シェアハウス整備、「未来創造部」の組織化、地域ビジョン策定完了、小堅ランド整備 ◆R4年度：①DIYによる「小堅ランド」の安全確保 ②イベント開催（DIYイベント、遠足の受け入れ、地区シニアサポーターによる「昔の遊び教室」）
	
	小堅ランドの安全性を強化し、子どもたちが安心して活動できる環境を整備しました。シニアサポーターをはじめとする地域の大人や、公益大生の参画によるイベントが活発に開催されています。
4	団体名： 三瀬地区自治会
	事業名： 三瀬地区地域ビジョン推進事業
	交付決定額： 995,000円
	事業概要： 「三瀬イズム 住むを楽しむコミュニティ」をキャッチフレーズにした三瀬地区地域ビジョンのうち、「三瀬ファンプロジェクト」「見守り・防災プロジェクト」に取り組み、住民の不安解消、地域特性の向上を目指す。 ◆R1～R3年度：駅前環境整備、ビジョン住民周知、マイ防災カード整備、三瀬散歩コースの認定事業、見守りの仕組みづくり、ビジョン詳細版作成、地域再発見事業、空き家対策事業（プロジェクトチームづくり） ◆R4年度：①三瀬ファンプロジェクト（50周年に向けた歴史の整理、アーカイブ化） ②見守り・防災プロジェクト（地域ICTプラットフォームサービス「結ネット」を活用した災害時の安否確認試行事業） ③地域活動の振り返り会開催

5 **団体名**：湯野浜地区自治会

事業名：湯野浜のみらいに舵をとれプロジェクト ～さあ、波に乗ろう!!～

交付決定額：621,000 円

事業概要：夕日百選の日本海や砂浜等自然環境を活かし、住民が心豊かに楽しみながら過ごせる場所の創出を目指す。併せて、観光客の増加、交流人口の拡大につなげる。住民参加により楽しくまちづくり活動を実施し、一体感の醸成を図る。

◆R2～R3 年度：ロゲイニング大会実施、サイクリングロード整備、中心部環境整備（改札口ひろば・でんしゃみぢ・渚のステージ）、海岸遊歩道美化活動

◆R4 年度：①渚のステージの活用（夏祭りの復活、伝統芸の披露、自治会専門部共同企画事業、地域外団体への会場貸し出し）

②改札口ひろばの活用（小規模イベント、フリーマーケット、防災訓練）



住民で設置した「渚のステージ」では、サークル活動の発表等イベントが多彩に開催されています。



「湯野浜伝統芸能まつり・盆踊り」を開催。約 300 名を超える集客のもと、盛大に執り行われました。

6 **団体名**：第六学区コミュニティネットワーク

事業名：「共生のまち6 楽暮～世代を超えてつながる居場所づくり～」プロジェクト

交付決定額：400,000 円

事業概要：第六学区内において、特に高齢化率が高く、単身高齢者世帯や空き家が増えている現状等同じ課題を抱えている町内会を集約してモデル地区として設定し、困りごとを気軽に話し合える居場所づくり等課題解決に向けた取組を展開していくことで、安全、安心に暮らせる地域を目指す。

◆R2～R3 年度：住民ニーズの整理・活動内容の検討、組織の設立、拠点施設整備

◆R4 年度：①居場所の住民周知・交流事業の充実（住民講師、高校生の活動受け入れ）

②世代間交流の促進（SNS の活用、中・高校生主体の企画運営事業の奨励）



交流居場所として整備された「はろ〜くらぶ」



夏祭りなどの季節イベント開催のほか、手話教室、朗読会など多彩な事業が活発に行われています。

7	団体名： 由良自治会
	事業名： 地域ビジョン実施事業「“ゆら” まるごとインフルエンサー」
	交付決定額： 814,000 円
	<p>事業概要：今年度完成した由良地域ビジョン『ゆら“未来予想図”』の実践計画として、「情報発信 PR」「SNS 教室」「マップ・看板設置」「フリーマーケット」開催など掲げている。恵まれた地域資源をだれでも・いつでも・どこからでも情報発信・受信・交換・共有することができる、“ゆら” まるごと「インフルエンサー」をキャッチコピーに住民の皆が自分ごととしてまちづくりに参画し『ゆら“未来予想図”』の実現を目指す。</p> <p>◆R4 年度：①住民全員がインフルエンサー（高齢者向け「SNS 教室」、集いの場と美味しい食の提供）</p> <p style="padding-left: 40px;">②地域全体がインフルエンサー（サインと QR コードの設置、動画撮影の検討、環境美化準備、フリーマーケットの開催準備）</p> <p style="padding-left: 40px;">③地域ビジョン「ゆら未来予想図」の住民周知</p>

【令和 4 年度実施要項改正】

令和元年度から令和 3 年度までのまちづくり未来事業を検証し、令和 4 年度に実施要項を改正。各地区のニーズに即したより効果的な支援とするため、地域ビジョン策定後の実践支援、取組未実施地区への動機づけ支援などを追加し支援の充実を図った。

未実施地区については、今年度は検討準備する期間を要したため申請地区は無かったが、次年度の申請を予定している地区がある。

<対象対象>

- (1) 鶴岡地域まちづくり未来事業プロジェクトに基づく事業
- (2) 地域ビジョンに基づく事業（実践支援）
- (3) 第 2 期鶴岡市地域コミュニティ推進計画に基づく事業
第 2 期鶴岡市地域コミュニティ推進計画に基づく事業で、地区住民による検討会等で決定した地域課題解決に向け取り組む事業 ※当該補助制度の活用は 1 回限り

【取り組みの成果】

- 地域の担い手が活躍できる環境や体制が整い、担い手の確保・育成が図られた
- 目指す姿の実現に向けた実践事業に取り掛かりやすい環境が整備された
- 関係人口の増加
- 歴史文化の活用による郷土愛の醸成及び域外への本市の魅力発信に貢献
- 取り組みに至っていない地区の機運の醸成が図られた
- 住民のまちづくり意識が高まり、組織基盤強化、地域課題解決力の向上が図られた

■ 制度概要

地域の問題解決に向けた住民主体の地域づくり活動を促進するため、地区の要請に応じて配置された市職員がアドバイス等の支援を行う

■ 支援地区での取組（令和4年度／抜粋）

- **第二学区コミュニティ振興会**
若手育成や担い手づくり、地域ビジョン策定に向けた話し合いの場の運営支援
- **第三学区コミュニティ協議会**
住民参画による地域づくり活動の実施に向けた話し合いの場の運営支援
- **湯野浜地区自治会**
住民参加による楽しいまちづくり活動において、一体感の醸成を図ることへの助言等支援

■ 配置状況（令和4年度は15地区へ28名配置）

	令和2年度／16地区	令和3年度／17地区	令和4年度／15地区
地域ビジョン策定 及び取組への助言等	黄金、三瀬、由良、東栄、 手向、泉、羽黒第四	斎、由良、大山、 藤島、渡前、泉、広瀬	第二学区、藤島、東栄、 長沼、渡前、手向、泉、 広瀬、羽黒第四
鶴岡地域まちづくり未来 事業の取組への助言等	第二学区、第六学区、 大泉、田川、湯野浜	第二学区、第六学区、 大泉、田川、湯野浜	田川、湯野浜
その他、 地域課題解決の支援等	第三学区、京田、 藤島、鈴	京田、手向、丸岡、 宝谷、馬渡	第三学区、丸岡、 宝谷、馬渡

地域づくりにつながる生涯学習の推進

生涯学習推進員 161 名

活動回数 1103 回（活動回数は、概ね半日単位の活動を 1 回とした延べ回数）

令和 4 年 12 月活動分まで

区分	鶴岡	藤島	羽黒	楡引	朝日	温海	合計
配置地区数	広域コミュニティ単位	広域コミュニティ単位	広域コミュニティ単位	楡引生涯学習センター	広域コミュニティ単位	温海ふれあいセンター、地区自治会	/
	18	5	4	1	3	5	36
R4 人数	73	26	19	9	15	19	161
活動回数	342	277	302	32	54	96	1103

※ 令和 4 年度の生涯学習推進員の任期は令和 6 年 3 月 31 日まで（再任も可）

※ 温海地域の 4 つの地区自治会は館を持たない広域組織

○令和 4 年度の主な活動内容 ※_____ 特色的な事業

鶴岡地域

- ・各種講座の企画立案、運営（第 1 学区：鶴南大学講座 第 6 学区：楽知六講座 由良：ふれあい講座 大山：令和おうら大学 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営（第 3 学区：チビッ子広場 第 6 学区：だがしや楽校 黄金：金峯少年教室 京田：土ん土ん体験 大山：高館山少年教室 等）
- ・地域イベントの企画立案、運営（第 2 学区：ウォークラリー大会 湯野浜：伝統芸能まつり 等）
- ・文化祭、作品展等の企画立案、準備等（コミセン祭り、文化展 等）
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営（グランドゴルフ 等）
- ・地域づくり活動の企画立案、運営（防災訓練、防災研修、ふれあい訪問 等）

藤島地域

- ・各種講座の企画立案、運営（東栄：地域学習講座 長沼：軽スポーツ教室 等）
- ・青少年育成事業等の企画立案、運営（藤島：親子ふれあい事業、そば打ち教室等 東栄：アソベンチャークラブ 八栄島：わらしっこ楽園、中学生事業 長沼：わんぱく広場、高校生ボランティア活動 渡前：中学生ボランティア、さくら回廊芋煮会 等）
- ・文化祭、作品展等の企画立案、準備等（藤島：センターフェスタ 東栄：東栄芸術祭あさひ博 八栄島：活セン祭り 長沼：長沼秋まつり 渡前：芸術文化祭 等）
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営（各地区：グラウンドゴルフ大会 藤島：軽スポーツ大会 東栄：ペタンク・ワナゲ交流会 八栄島：ボッチャ研修会 長沼：ぼっぼの郷ウォーキング大会 渡前：ソフトボール大会、軽スポーツ大会、ボウリング大会 等）
- ・地域づくり活動の企画立案、運営（各地区：あったかボランティア事業、防災救急関連事業

藤島：防災研修会、クリーン作戦 東栄：救急法講習会 八栄島：救急法講習会、カーブミラー清掃 長沼：救急救命講習会 渡前：AED講習会 等)

羽黒地域

- ・各種講座の企画立案、運営（手向：にこにこ料理教室 広瀬：はつらつお楽しみ会 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営（手向：ホテル観賞会 泉：木のやさしさ工房 広瀬：学習田・田植え、夏休み学習教室、親子リース作り教室 第四：こだま秋の家 等）
- ・地域イベントへの企画立案、運営（山のつどい、川で遊ぼう 等）
- ・文化祭、作品展等の企画立案、準備等（広瀬・泉：各地区文化祭 等）
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営（手向：羽黒山朝山登山 泉：いずみ みんなでウォーキング 等）
- ・地域づくり活動の企画立案、運営（全地区：青少年を語る会、朝のあいさつ運動、はぐろ大家族会議 等）

櫛引地域

- ・趣味の講座の企画、運営（和菓子講座、ヨガ講座、草木染 等）
- ・生涯学習センター主催事業の運営・準備等（三方国替講演会、ミニ門松づくり 等）
※「三方国替講演会」酒井家庄内入部400年記念連携事業（「庄内から来られたご先祖様」講演会・パネルディスカッション）
- ・文化祭、作品展等の企画立案・準備等（文化財めぐり、展示部門、ステージ 等）
- ・生涯学習推進員会議の開催

朝日地域

- ・各種講座の企画立案、運営
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営
- ・地域イベントへの企画立案、運営（文化まつり、敬老会 等）
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営（軽スポーツ大会、ボッチャ大会、グラウンドゴルフ大会 等）
- ・地域づくり活動の企画立案、運営

温海地域

- ・各種講座の企画立案、運営（赤かぶ大学、スマホ教室、陶芸教室、バーチャル花火大会、ギター教室、国際理解講座、星空観測 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案と運営（青少年ボランティア養成講座、遊び場計画、ハロウィンパーティ、あつみ地域未来塾 等）
- ・イベントへの企画立案と運営（あつみ音楽好きのコンサート、ふれセン歌うま王選手権、津軽三味線コンサート、ピアノ一日開放）
- ・温海文化祭の企画立案と運営

○生涯学習推進員の研修

<令和4年度 鶴岡市生涯学習推進員・生涯学習関係職員合同研修会>

開催日 令和4年12月2日(金)

場 所 鶴岡市総合保健福祉センター にこ♡ふる(3階大会議室)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ZOOMでのオンライン参加も可能とした。

内 容 グループワーク「みんなの活動を共有し、悩みを話し合おう」

各地域の生涯学習推進員や広域コミュニティ組織の生涯学習事業担当者が各々の地区の事業内容や日頃の活動の悩みを共有する機会を設けることで、推進員同士の横のつながりを強め、お互いの活動を参考にしながら今後より活発に生涯学習事業を展開していく契機となった。

講 師 廣瀬 隆人 氏(一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事)

参加者 生涯学習推進員、広域コミュニティ組織関係職員、市職員など41名

まち活通信

まちづくり
活動を
お知らせする
広報紙

鶴岡市には、町内会や自治会など 463 の単位自治組織と、33 の広域コミュニティ組織（コミュニティ振興会、自治振興会等）があり、地域のまちづくりの活動主体として取り組んでいます。

近年、多くの地域コミュニティでは、役員の高齢化や固定化、価値観の多様化や帰属意識の低下など社会状況の変化に伴い、活動の担い手不足が一層深刻さを増す傾向にあります。一方、地域の将来

像や活動計画を描いた「地域ビジョン」づくりを通して、住民同士が地域の将来のことを話し合い、地域の特性や事情を踏まえた住民主体による地域づくりで成果をあげている地域も現れています。

この「まち活通信」では、地域のコミュニティ活動の工夫や独自の取り組みなどを紹介します。皆様の地域のコミュニティ活動のヒントになれば幸いです。

鶴岡地域 単位自治組織

皆が集まる機会をコロナ禍でも大切にしたい

前 みどり町町内会長 瀬尾 忠衛



昭和 43 年の町内会発足から 55 年を迎えようとしています。今年度、町のスローガンは「3.すべての人に健康と福祉」「11.住み続けられるまちづくりを」で、SDGs の達成に向けた取り組みを進めています。

コロナ禍の町内会活動

この 3 年間、コロナ禍ではありますが、皆が集まれる機会を

作りたいと工夫して交流事業を行っています。町民運動会の代替として開催したウォーキング大会は、チェックポイント 5 箇所でクイズに挑戦しながら、好きなコースを歩いてゴールに向かうもの。イベント当日、庭の手入れをしていた住民とウォーキング中の参加者が声を掛け合うなど予想外の交流もあって、爽やかな汗と笑いを共有できる

楽しい大会でした。

他にも、新しい試みとして緑日風情の秋祭を実施しました。

この事業は、子ども会の保護者

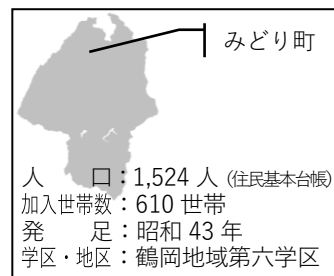


老若男女が参加したウォーキング大会。参加賞はみどり色の SDGs 風ビンバッジでした。

等と共に開催準備を行ったので、若い町民のパワーを実感した機会にもなりました。当日は、大勢の子供たちや家族の来場があって、自由に遊べて賑やかな祭事となりました。

避難所運営は皆で役割分担

災害に備えた取組みでは、第六学区コミュニティネットワークと共催で、みどり町の指定避難所の第六学区コミセンを会場に避難所開設訓練を行いました。風邪等で体調が悪い方や障害がある方、赤ちゃんがいる家族など多様な避難者の避難場所の区別や、トイレ・駐車場の確保等々を役員だけでなく、元気な人は皆協力して役割分担しなければならぬことを学びました。今はまだ十分に備えができていなくても、訓練で習得していくものです。また、町内会と



みどり町
人口：1,524 人（住民基本台帳）
加入世帯数：610 世帯
発足：昭和 43 年
学区・地区：鶴岡地域第六学区

して備えた方が良い物品を考えるきっかけにもなると思っています。

ありがとうの心のお返しを

公園の除草やごみ拾い、高齢者宅の除雪や食事の提供、下校児童の見守り等々、さりげない、たくさんの方のボランティア活動に感謝ばかりです。町内での助け合い、支え合いが当たり前になり、ありがとうの心のお返しが素直にできることがまちづくりの原点だと思いますので、町内で出会う方々が皆笑顔で挨拶を交わせる素敵な町を目指しています。

温海地域 単位自治組織

みんなでつなぐ宮名の未来～宮名地域活性化ビジョン策定～

前 宮名自治会長 今野 久良



宮名が限界集落になる！？

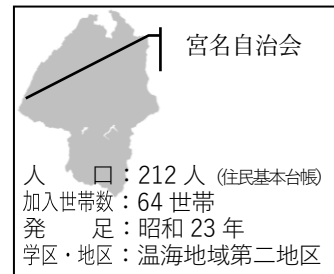
宮名はこの 8 年間で約 50 人減りました。令和元年度、地域づくりモデル地区に手をあげ、藤山浩先生による「人口分析・予測シミュレーション事業」に参加し、このまま何もしなければ 32 年後の将来人口はたった 70 人、高

齢化率は 62% の限界集落になるという大変ショッキングなデータを目の当たりにしました。

ビジョン策定への道のり

まずは、この現状を集落で共通認識し、将来も続く自治会にしなければと思い、令和 2 年 9 月「宮名未来づくり委員会」を

立ち上げ、温海庁舎やスケダチ※の支援をいただきながらビジョン策定に取り組むこととしました。委員は、自治会役員のほか、各種組織の代表者を選定し、年齢・性別もバラバラとなるように配慮しました。ワークショップでは、活発な話し合いが行われ、皆さんの想いを多く聞くことができました。土地柄、道路や鉄道関係の困りごとが多く出されましたが、身近にある夕日や海・山の幸を魅力と思う住民が多く、共感できました。また、



宮名自治会
人口：212 人（住民基本台帳）
加入世帯数：64 世帯
発足：昭和 23 年
学区・地区：温海地域第二地区

獅子舞の伝統や昔話にも花が咲き、子どもたちに伝統をつないでいってほしいと、急ぎよ中高生にアンケートを取りました。宮名を好きでいてくれる子どもが多く、大変嬉しく思いました。ビジョンをより身近に感じて

※地域づくり活動をサポートする中間支援団体。

ほしく、「遊ぼう 暮らそう 関わろう みんなでつなぐ宮名の未来」をスローガンに設定しました。

ビジョンづくりを通して、宮名の魅力や課題を出し合い、取り組みのアイデアを話し合えたことは、今後の自治会運営を行っていくうえで大変重要な意味のあるものでした。

朝日地域

広域コミュニティ組織

若者によるゆるやかな繋がりのある地域づくり

朝日中央地区自治振興会 事務局長 菅原 和則



「これからは若者と女性が鍵だぜの～、何するや～」理事との雑談から企画が生まれました。

「チームWaGeSho」始動

かねてからご縁があった東北公益文科大学（以下、公益大）大学院教授の武田真理子先生にご協力をお願いし、事務局会議を重ねました。そして、若者が集い、ありのまま語り合うことでゆるやかな繋がりのある地域づくりをしていこうと、令和3年度から本格的に「チームWaGeSho（わげしょ）」のプロジェクトを立ち上げるようになりました。

世代間交流で活性化

ビジョン完成後、令和4年度事業に2つ組み入れました。7月には「イ貝汁を食する会」を実施し、地元でとれた旬の食材を漁港付近で堪能しました。正月前には、昔ながらの風習・伝統を子どもたちに伝えたいと「ナン団子づくり」を行いました。

山から採ってきたミズキの枝に紅白の餅を飾り付けしました。役員や関係団体の協力のもと、素晴らしい事業となり、



左)漁港付近でイ貝汁を食しました。右)餅つきを行い、ナン団子を飾り付けました。

子どもたちにはこれらの体験を心に刻んでほしいと願っています。住んでいる人が自慢でき、子ども

もや孫たちが帰ってこれる「温かい集落 宮名」となるよう取り組んでいきたいと思ひます。

自然と人が集まってくるのではないかと日頃から考えています。

そんな中、公益大とIT企業の株式会社プロトソリューション、当自治振興会のコラボ企画「朝日地域共創プロジェクト」として、朝日地域の情報を発信する特設サイトの提案をいただきました。立ち上げにはメンバーも参加し、令和4年秋から運用しています。当サイトでは、リアルタイムでの情報発信ができる「つぶやき」を利用して、地域の出来事や様子を写真とともに発信しています。

朝日中央地区：
大針・本郷・名川・熊出・東岩本の5地区、23集落

人口：2,944人（住民基本台帳）
加入世帯数：846世帯
発足：平成26年
学区・地区：朝日中央地区

楽しいことをやってみる！

集まったメンバーで企画の目的や朝日の良さを共有し、やってみたいことの話し合いを繰り返しました。「強制しない」「楽しいことをやってみる」まずはそれだけ。楽観的かもしれませんが、楽しいことをしていれば



ジビエ BBQ。地元若者でも食べたことのない、クマ肉、イノシシ肉に恐る恐る挑戦しました。朝日地域共創プロジェクト <https://jomonex.jp/asahi>

また、公益大大学院の授業のフィールドに朝日地域を選定していただき、大学生との交流も実現しました。今冬には、関東在住メンバーの提案で、暗

くて寂しい朝日の夜道を明るくしようと、帰省した方や通勤通学の方に向けたほっこりメッセージ「おかえり～☆」のイルミネーションの制作にも取り組みました。

未来を託す人材の育成

今はまだ事務局が仕掛けている感が否めませんが、「チームWaGeSho」として自発的な活動が行えるように引き続き見守り育てていき、朝日の明るい未来を彼らに託せるようになることを願っています。

鶴岡市住民自治組織合同研修会「つるおかみらいフォーラム」を開催しました

本研修は、持続可能な地域コミュニティを目指すことを目的

とし、「これからの時代に不可欠な住民自治のカタチ～地域での暮らしを持続可能なものにするには住民自治の進化が不可欠～」をテーマに、新潟県

村上市の都岐沙羅パートナーズセンター理事・事務局長の齋藤主税氏からご講演いただきました。

齋藤氏からは、「暮らしや地域を支える世代と支えられる世代の人口構成が変化しており、祭りや伝統芸能、除雪など個人や自治会で賄っていた活動が困難

になっていくため、住民自治の進化・再構築が必要である。行事や会議、組織の棚卸を『掛け算』で考えると組み合わせから『ついでにやる・まとめてやる』といった新しい価値が生まれる」など、これからの住民自治に必要な視点をお話いただきました。

また、講演後には参加者同士車座トークを行い、日頃の活動の情報交換や悩みを共有しました。



なにごとでも「みる」を大切に！

やってみる 試してみる ダメならやり直してみる

(講師資料・一部抜粋)

編集・発行／鶴岡市市民部コミュニティ推進課

〒997-8601 鶴岡市馬場町9-25
TEL：0235-35-1203
E-Mail：community@city.tsuruoka.yamagata.jp

藤島庁舎総務企画課 TEL 0235-64-5812
羽黒庁舎総務企画課 TEL 0235-26-8772
櫛引庁舎総務企画課 TEL 0235-57-2111
朝日庁舎総務企画課 TEL 0235-53-2113
温海庁舎総務企画課 TEL 0235-43-4611



まち活掲示板 HP

各地域の取組み状況について(令和4年度)

☆ 鶴岡地域の地域課題解決に向けた取組み ☆

第三学区

昨年3月に実施した第1回未来創造ミーティングでは、幅広い世代が集まり、第三学区の未来について各人が思うところを共有しました。今年度は、具体的な取組みを進めるため、「企画チーム」を編成し、第三学区のあるべき姿や課題を共有したり、イベントの基本プランの検討を行ってきました。今年2月25日に開催した第2回ミーティングには、町内会やコミュニティ協議会の役員、小中学生保護者のほか、学区在住の方や通学している高校生・大学生等も参加。リラックスした雰囲気の中、積極的な意見やイベントをより楽しいものにするアイデアが出されました。



前回以上に幅広い年齢層が集うミーティングとなりました。



金魚すくいや動物とのふれあいコーナー、バンド演奏など多彩な催しでお迎えました。

黄金地区

令和4年8月7日、若い世代が中心となって準備を進めた「第1回 金峯マルシェ」が黄金コミセンで開催されました。会場では、人気の飲食店によるキッチンカーや農産物等の販売に加え、フリーマーケットやイートインコーナーで楽しむことが出来ました。入口ゲートは、子供たちが制作した看板で彩られたほか、フリーマーケットには70代の出品者もいたりして、地域の皆で作り上げた手作り感あふれるイベントになりました。

大山地区

大山地区自主防災会議では、今年度、各町内会・各家庭における避難路づくりの完成を課題に、研修を行ってきました。令和4年8月には、ウェザーハート災害福祉事務所の千川原公彦氏を講師にお迎えし、DIG(災害・想像力・ゲーム、それぞれの頭文字をとったもの)という手法を用いて、各テーブルに置かれたダミーの地図上に、避難進路や必要な情報などを書き込み、より良い災害時の動き方をゲーム感覚で学びました。来年度は、避難所運営のノウハウを学ぶ予定です。



「避難路づくりワークショップ」の研修をふまえ、各町内に持ち帰って避難路を実作しました。

令和4年度藤島地域各地区の取組み

藤島地区 **【更に充実】文化講演会**



10月29日、藤島センターフェスタ文化講演会が、タレントのミッチーチェン氏を講師に藤島活動センターで開催され、同氏のファンなど約100人が詰めかけました。

「地元を盛り上げ元気を発信！これが俺のローカルでの生きGATA」と題して、テレビ出演に至るまでの経緯や、タレント活動を通してのエピソードなどを面白おかしく紹介。

講演後は、ミッチーチェングッズが当たる抽選会や、来場者との写真撮影会も行われ、終始和やかな会となりました。

東栄地区 **【更に充実】わくわく・どきどき体験「アソベンチャークラブ」**

年10回実施する事業のうち「夏休み寺子屋(勉強会)大作戦」を昨年に引き続き行いました。初日は、現役・OBの先生にサポートしてもらい、昼食は昨年同様に地元の手作り会の方々のご協力で準備していただき、美味しくいただきました。

2日目には中学生・地元協力者・職員サポートで課題の勉強会を行い、世代を超えたつながりが出来た事業でした。



八栄島地区 **【新企画】小学生対象「親子笹巻作り教室」**



地域の「食」をテーマにした料理教室・体験事業等支援を受け、「親子笹巻作り教室」を開催しました。

小学生、保護者、初めての方ばかりでしたが、講師の女性団体から丁寧に指導していただき、コツを覚えてスムーズに巻けるようになっていきました。また事前に準備していた笹巻を笑顔で堪能、有意義な体験ができました。

長沼地区 **【新企画】「夏休み宿題快笑塾」**

今年度からの新たな取り組みとして、長沼地区在住の小学生児童を対象に「夏休み宿題快笑塾」を8/4(木)～6(土)の3日間の日程で実施しました。地元高校生(8名)にサポーターとして協力して頂きました。わからない所を高校生に教えてもらったり、一緒におやつを食べたりしながら、夏休みの宿題を進める事ができました。



渡前地区 **【更に充実】「地心ぶき祭り」**



凧上げコンテストやスノーシューシューティング等の従来からある町内会対抗種目に加え、「ドでかい雪だるまを作ろう！」(全体の雪量を競う競技)を新たに設定しました。

量に拘り高く積み重ねた町内会もあれば、顔を描き帽子やボタンを付け個性的な雪だるまを完成させた町内会等様々で、子供も大人も本気になって取り組み、歓声や笑顔が溢れた事業となりました。

羽黒地域の取組み

★手向地区の取組み★

地域通貨導入チャレンジ「うけたもう通貨実証実験」

令和4年9月18日～令和4年12月20日

令和5年度本格スタートに向けた実証実験として、281名の敬老者（75歳以上）へお祝い品「うけたもう通貨500円」をお届けしました。食品を扱う商店ほか美容院など手向地区の商店17店舗で使用でき、利用者からは「〇〇で使ってきた。」と、うれしい報告もありました。今後、地区の商店の活性化に繋がっていかれたらと思っています。



★広瀬地区の取組み★

「第1回 雪上レクリエーション in ひろせ」

令和5年2月5日(日)開催

コロナに配慮し、毎年屋内で行っていた冬季レクリエーションを外での内容に変更。さらに参加も集落単位から個人チームでの参加型に変更して開催したところ、ほとんどが「集落行事がないのでこれを機に集まりたい」との思いや「子どもたちを参加させたい」とのことで、集落でチームを作り参加してくれました。今後さらに集落の絆が深まることを期待します。



★泉地区の取組み★

「いずみみんなでウォーキング」

令和4年10月16日(日)開催

地域ビジョンの取組みとして、気軽にできるウォーキングを通し、地区の自然や魅力を知ってもらおうと開催しました。

様々な年代の参加があり、また活動の中で交流が生まれ老若男女一緒に楽しめる事業となりました。



★羽黒第四地区の取組み★

「地区民&リーダー研修会」

令和4年7月17日(日)開催

地域ビジョンを基に地域づくりに取り組んでいる加茂自治振興会を訪問し、策定までの流れやビジョンの取組みについてお話を伺いました。

羽黒第四地区も今年度から「地域ビジョン」策定をスタートし、策定委員会の発足、住民アンケートの実施やワークショップと、取組みを進めています。



櫛引地域の取り組み



◆櫛引地域自主防災会合同研修会◆

各地区自主防災組織の強化と広域コミュニティ組織がないことを補完すべく広域的な自主防災組織の設立を図るため、「避難所運営ゲームHUG」による研修を実施。

避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験し、このゲームを通し、有事の際の避難所開設・運営を自分事として、教わるのではなく学ぶことを目的に開催。

◆櫛引地域広域コミュニティ組織検討会を再開◆

平成28年度から休止していた検討会を櫛引区長会からの提言を受け再開することとなった。

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画策定に向けた第1期計画の振り返りを機に、櫛引区長会において勉強会を重ね、令和4年10月に広域コミュニティ組織設立の方向性を確認に至り区長会から提言がされた。

平成28検討会では、必要性は確認されたが「設置時期の具体的な目標年度は設定しない」という結論に至り、以降検討会は休止。近年、自然災害の激甚化を受け、区長会では、防災福祉について広域化の必要性が高まりを確認、「いかに人命を救うか」という課題は、設置を見送る結論となった課題を凌ぐ課題と捉え、櫛引地域広域コミュニティ組織の設立に向け、検討を再開することを提言した。

◆3年ぶりに県外研修を実施◆

感染症の影響から実施が見送られた区長会視察研修を3年ぶりに福島県「東日本大震災・原子力災害伝承館」で実施。

今後、コロナ禍を経て、本格的な地域活動の見直しが行われると想定されるが、研修後の懇親会を含め、一体感の醸成と課題の共有に大変意義がある事業と確認できるものであった。



朝日地域の取り組み

地域語り合い



朝日中央
地区



朝日南部
地区

令和4年11月5日～11月24日 子どもたちに地域をふるさととして残し、つなげていこうと、大針・本郷・名川・熊出・東岩本の5地区で地域のこれからについてざっくばらんに話し合う「地域語り合い」を開催しました。中学生から80代の方まで参加者一人一人が思いを共有し、それぞれが色々な形で地域愛に目覚めた楽しい場となりました。

南部スマホ教室



朝日南部
地区



令和4年8月1日～10月17日 スマートフォンの基本操作の習得を目的として、全10回のスマホ教室を開催しました。慶應義塾大学院生の西田大哉氏による丁寧なご指導のもと、「視野が広がった!」「外孫の顔が見られる!」と参加者は大満足。生活の質の向上を図りました。

大網子ども大黒舞



朝日東部
地区



地元の育成会と連携した地域の伝統芸能「大網子ども大黒舞」を継承する活動の一環として、秋のステージ発表に向けた練習会を行いました。11月に開催された「あさひ産業文化まつり」では3年振りのステージ発表が叶い、長年ご指導いただいている地元講師の先生も真剣に舞いを披露する子ども達の姿に目を細め、温かく見守っていました。

温海地域の取り組み状況

●温海第1地区自治会の取り組み



温海第1地区自治会では、3年ぶりに軽スポーツ交流会を開催しました。種目はグラウンドゴルフのみとし、懇親会は行わないなど、コロナ感染防止対策のため規模を縮小しての開催となりましたが、大勢の方から参加していただき、交流を深めてもらうことができました。

●温海第2地区自治会の取り組み



温海第2地区自治会では、今後の地区運動会の方向性について検討するため、役職員研修会を開催しました。意見交換では、「人口減少や高齢化によって運営が困難」として大会の見直しを求める意見の一方で、「地区住民全員が参加できるイベントとしてこれまで通り残すべき」と大会継続を望む意見など、様々な意見が出されました。

●温海第3地区自治会の取り組み



温海第3地区自治会では、旧福栄中学校体育館において、地区内の住民を対象に「ボッチャ」、「輪投げ」、「ディスクゲッター」を1種目5チームのリーグ戦で実施する福栄レクリエーション大会を開催しました。コロナ禍にも関わらず80名が参加し、健康増進と親睦を図りました。



●温海第4地区自治会の取り組み



温海第4地区自治会では、積極的に自主防災に取り組んでいる三瀬地区へ伺い、自主防災組織の取り組みについて学ぶための研修会を実施しました。

同日の午後、小堅コミュニティセンターで「シェアハウス&キッチンこがたん」と「小堅ハウス」について説明していただき、現地を見学しました。

